

# カメラ ま ち の 出 来 事 あらかると

広報たかはし

広報たかはし



## はばたけうかん 大空へ (11月25日 うかん常山公園)

「風ぐるまフェスタ 2007 inうかん」(同実行委員会主催)が行われ、市内外からの多くの家族連れらでにぎわいました。

ステージではキャラクターショーや芸能発表などが行われ、演歌歌手・金田たつえさんの歌謡ショーもあり、販売コーナーでは、有漢地域と交流する市内外の地域特産品が並び、人気を集めていました。

## 響きわたるハーモニー (11月25日 総合文化会館)

「第18回高梁コーラスフェスティバル」が行われ、市内と吉備中央町の20団体が出演。日ごろの練習の成果を披露し、童謡や歌謡曲、オペラ曲など幅広い曲目の美しい歌声や演奏が会場に響きわたりました。

エンディングでは、高梁高校吹奏楽部の演奏に合わせ、出演者と観客全員で「ふるさと」を合唱しました。



## 思いやりの心を大切に (12月5日 総合文化会館)

人権週間(12月4日~10日)に合わせ、「レッゴー三匹」のリーダーとしてテレビなどでおなじみの漫才師・レッゴー正児さんを迎えて、人権啓発講演会が行われました。

「人がいて ぬくもりがあって 人がいて」と題し、芸能界に入る前、また芸能界で「レッゴー三匹」として活躍するまでの苦労や支えてくれた家族・師匠への感謝など、ユーモアたっぷりに語る講演に、参加者は時に笑い声を上げながら聞き入っていました。

## 100歳おめでとうございます(11日12日 長寿園)

100歳を迎えられた三村三治郎さん(高倉町田井出身)を市長らが訪問し、記念品や花束を贈って長寿を祝いました。長寿の秘訣は「好き嫌いをせず、何でも食べ、くよくよせずにのんびり暮らすこと」だそうです。

市内で100歳以上の人は12月10日現在で28人(男性5人、女性23人)





## 冬を彩る冬絵ぶた

(12月8日 マンガ絵ぶた公園)

冬の風物詩となった「冬絵ぶたイルミネーション」(備北商工会川上支所主催)。点灯式が行われ、アトラクションとして子どもたちが電子オルガン演奏とリズム体操を披露。温かいおでんなどのサービスや、サンタクロースから子どもたちへのプレゼントもありました。

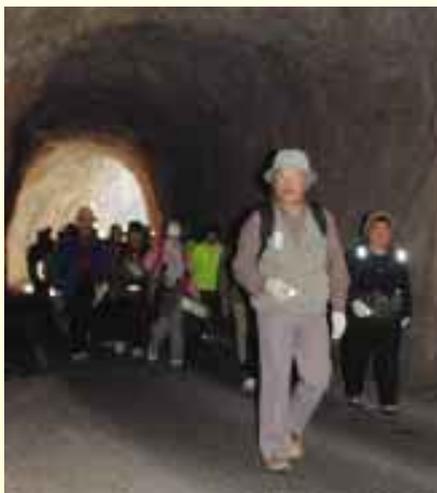
公園は、アニメキャラクターなど11基の冬絵ぶたとイルミネーションで彩られ、訪れる人々の目を楽しませていきます。点灯は1月中旬まで。

## いのちの大切さを学ぶ

(11月19日 宇治小学校)

聖路加国際病院(東京都)理事長・日野原重明さん(96)による「いのちの教室」が行われました。宇治小と高倉小の児童21人と保護者計約40人が受講し、日野原理事長の命にかかわる話に耳を傾け、胸に手や聴診器をあてて実際に心音を聞いたりするなど、命の大切さを学んでいました。

日野原理事長は命をテーマに国内外の小学校で授業をされており、県内では初めて。



## とと(魚)道をウォーキング

(11月25日 県道宇治下原)

「旧吹屋往来」沿いの県道を歩く「夢街道ルネサンス吹屋往来 とと道を歩こう」が行われました。市内外から58人の参加があり、手掘りのトンネルや紅葉を満喫しながら、成羽町成羽から宇治町宇治の元仲田邸までの8\*をウォーキングしました。

旧吹屋往来は、吹屋が銅山町として栄えていた当時、瀬戸内から魚を運んでいた道であったことから「とと(魚)道」と呼ばれていました。このイベントは、2月に「とと道」にかかわる県道が「夢街道ルネサンス認定地区」に選ばれたのを記念して、地元住民で組織する「高梁市中央高原三地域懇談会」が開きました。

## 入館30万人達成(成羽町美術館)

成羽町美術館は移転開館(平成6年11月)以来、11月17日で入館30万人を達成しました。30万人目の入館となったのは、家族と来館した阿部祥太くん(8)(岡山市藤田)。記念品として額入り複製画と美術館図録セット、熊谷守一展グッズが贈られました。(写真右)

また、10月27日から12月2日まで開催された「没後30年熊谷守一展」には特別展としては多くの10,610人もの入場がありました。最終入館者となったのは、家族で来館した飯田節夫さん(津山市)で記念品としてポスターや熊谷守一展グッズが贈られました。(写真左)



# 今月の 表紙

## お城すっきり ～迎春準備すす払い～

12月6日、備中松山城で、すす払いが行われました。教育委員会が点検を兼ねて毎年、実施しているもので年末恒例となっています。澄み切った青空の下、国重要文化財の天守や二重櫓にたまった落ち葉やサルふんなどをほうきで払い、屋根や壁にひび割れがないか入念に調べました。お城はすっかりきれいになり一足早く迎春準備が整いました。